

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	6 (5)	玄関、引き戸の施錠は身体拘束となるので、職員間で開錠できる時間帯を作る工夫をしてみたいかがか。	玄関を開錠できる時間帯を作れるようになる。	職員間で開錠できる時間帯はいつ・どのようなときなのか話し合い実現できるよう努力を行う。	12ヶ月
1	35 (13)	いざという時、利用者、職員の命を守るためにも自主訓練の回数を重ね、非常時における利用者の行動や、職員の対処の仕方を検討してみたいかがか。	毎月1回自主避難訓練を実施する。	令和3年1月より毎月自主避難訓練を実施する。	1ヶ月
2	45 (17)	入浴する、しないの選択は利用者がするので、職員は毎日声かけをし、いつでも入浴できることを情報として提供はしてはいかがか。	利用者様に毎日入浴の声掛けを行う。	入浴者は職員で決めず利用者様全員に声掛けを行って希望者から入浴できるようにする。 入浴希望者がいない場合は週2回入浴ができるよう職員が調整を行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。